

ALICIA.Y

—アリシア・Y—

立ち読み版

後藤寿庵

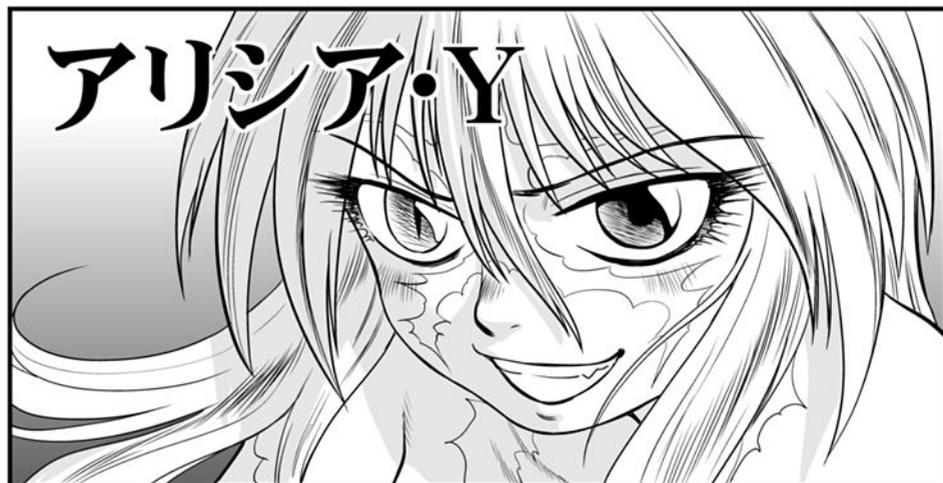
Juan Gotoh



それは永久とこしえに横たわる死者にあらねど
測り知れざる永劫のもとに死を越ゆるもの……

アブドウル・アルハザード著「ネクロノミコン」より

A L I C I A • Y

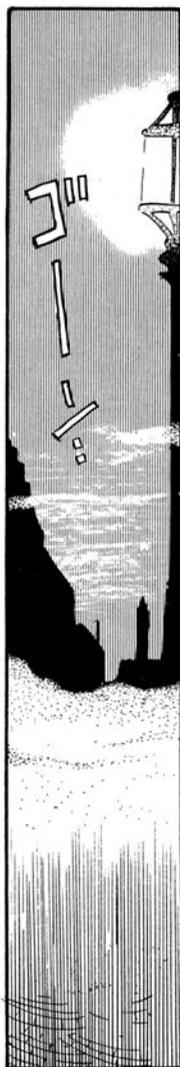


目次

第一話	111年目の切り裂きジャック……………	5
第二話	水晶の魔導師……………	19
第三話	満月……………	35
第四話	砂の記憶……………	51
第五話	ランドルフ=カーター……………	67
第六話	ルルイエの幻……………	86
第七話	鳴動……………	101
第八話	水の王……………	117
第九話	夢……………	133
第十話	ストーンヘンジ……………	149
第十一話	封印守護者……………	165
第十二話	邪神誕生……………	181
第十三話	アリシア=“Y”……………	195
外伝	ロバート=ゴドラムの研究……………	211
あとがき	……………	219

第一話

111年目の 切り裂きジャック







カツ

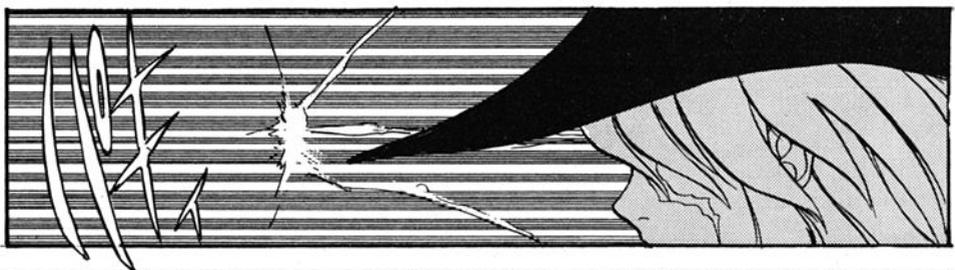
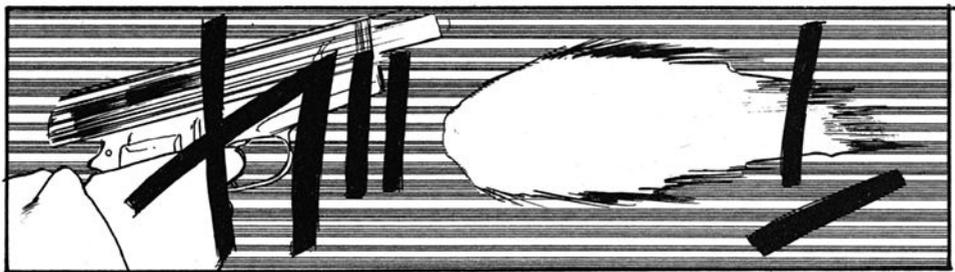


やあ
君達だね



ちよつと
聞きたいん
だけど
いいかな？

近頃世間を
騒がせてる
連続殺人犯は





この臭い……
インスマスの
半魚人か



すると
捜し物は

ルイエの
海底神殿の
入口



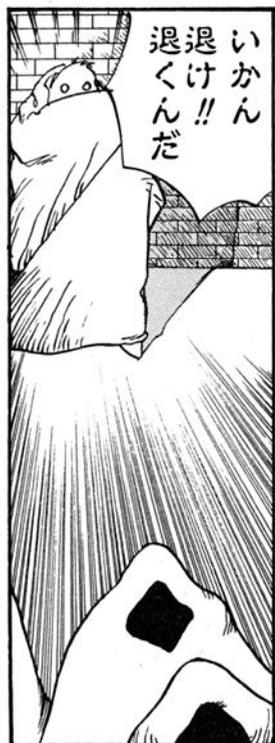
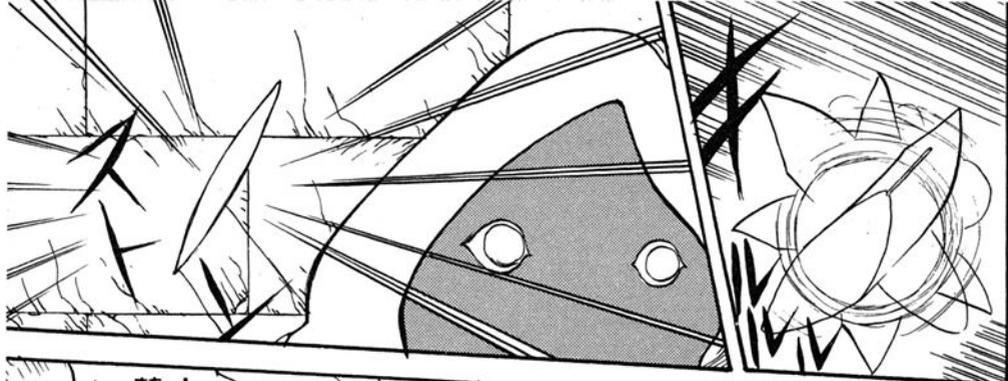
何者かは
知らんが
死んでもらう



色々
くだらぬことを
知っている
ようだな



やれっ!!



魚に名乗る
名はない

けど
死者に名乗る
名は
持つてるよ



ボクの名は
アリシア

アリシア
YII
アーミテイツジ

冥界の扉を
開く者





死ぬ前に
教えて
もらおうか

誰が君達に
知恵を付けた



それ以前になぜ
この地に「入口」が
あることを知った

先祖の記憶と
本能のみで
太平洋あたりを
うろついていた
君達が



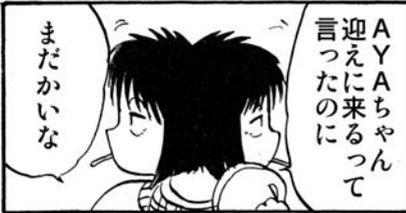
……
なんだと

人間の生命を
使って封印のありかを
探るようなマネは
「あの本」を読み解いた
者にしかできない
古代の秘法だ



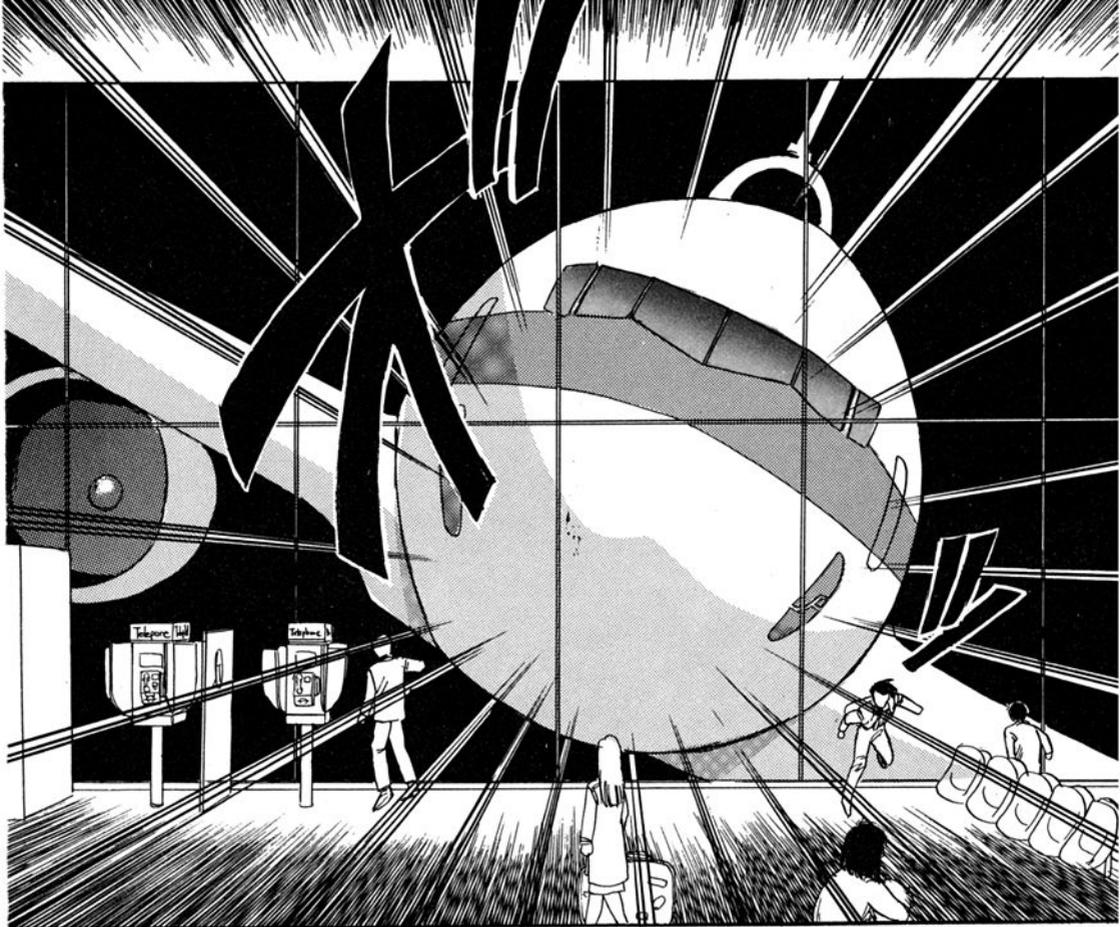
言つて
もらうよ
君の意志に
関係なく





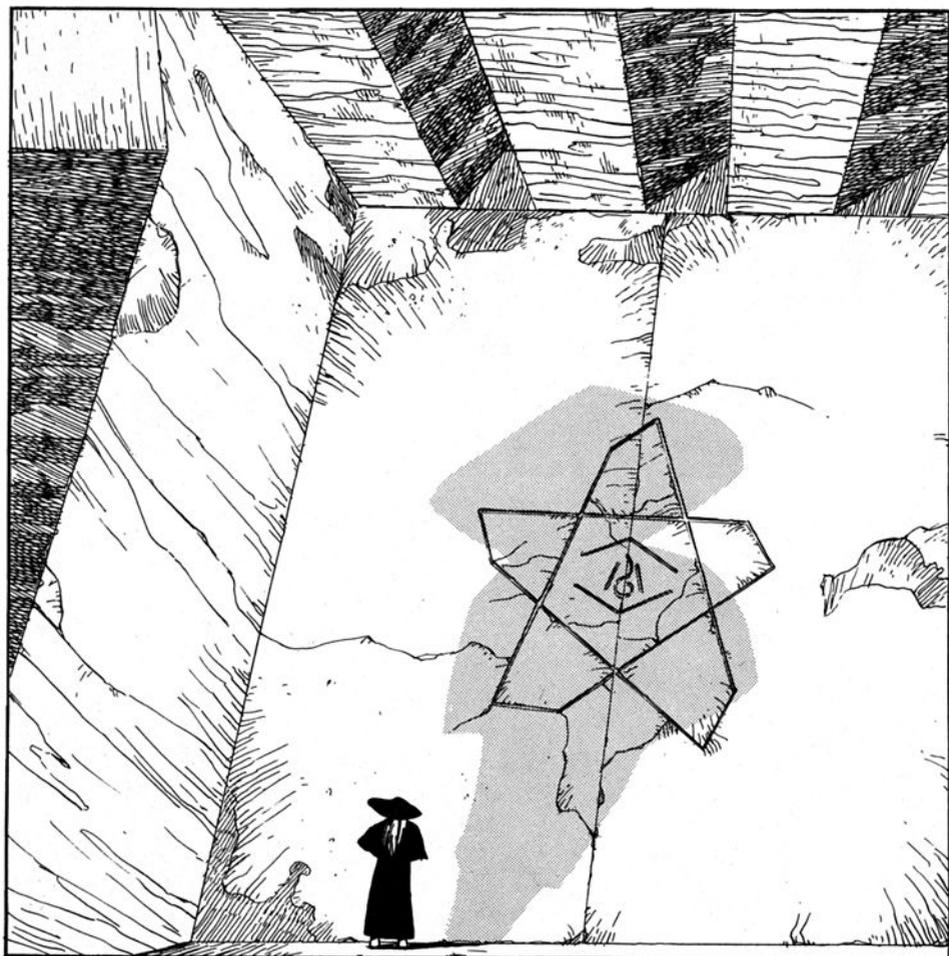




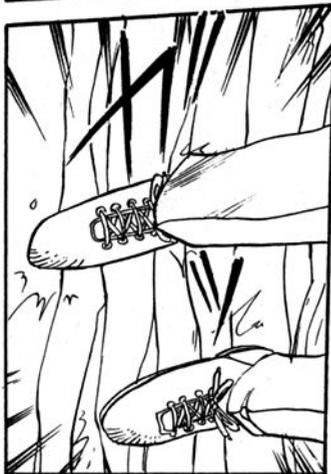


第二話

水晶の魔導士



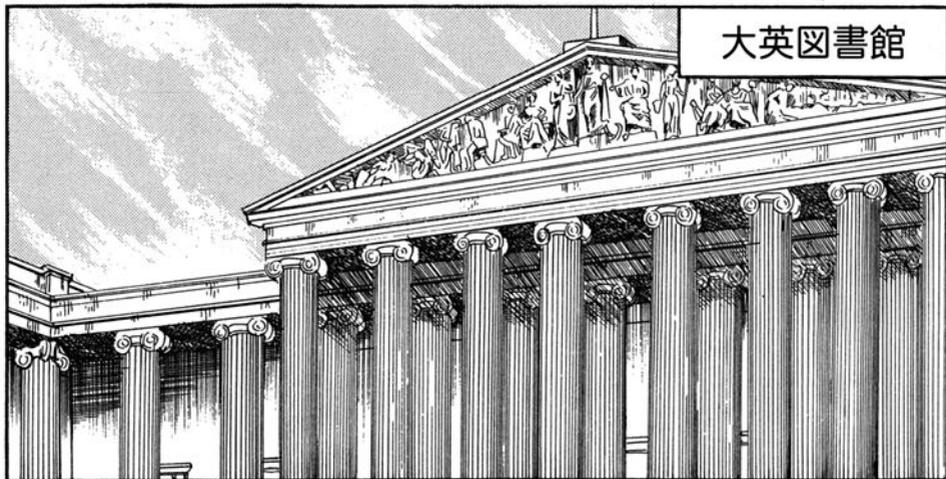


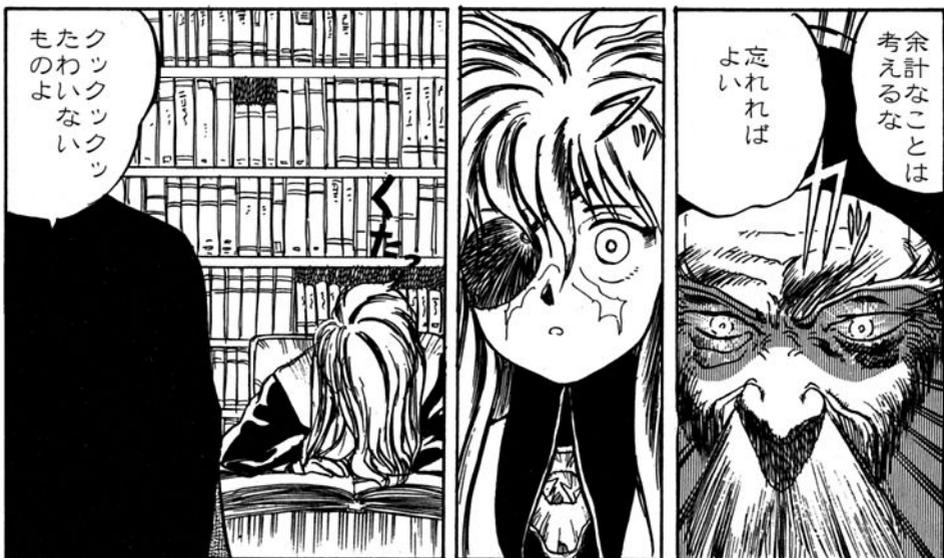
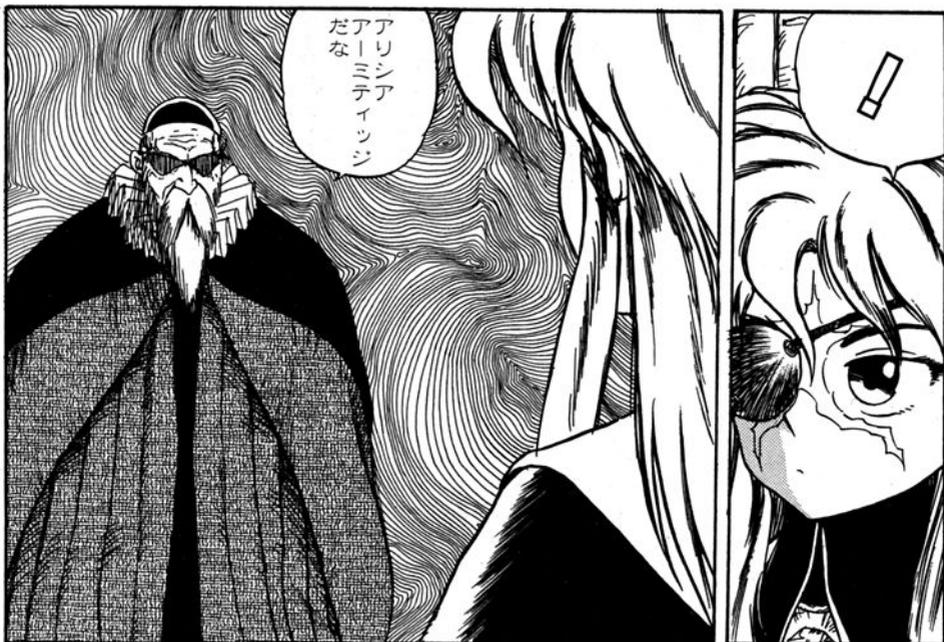






大英図書館







貴様の素性を話してもらおうか

死ぬ前にな



ヘンリーは私の先祖です

やはりそんなところか……



わかりました

アーミティッジという名には覚えがある確かヨグソートスの召還を阻止した男がヘンリーアーミティッジと言ったな



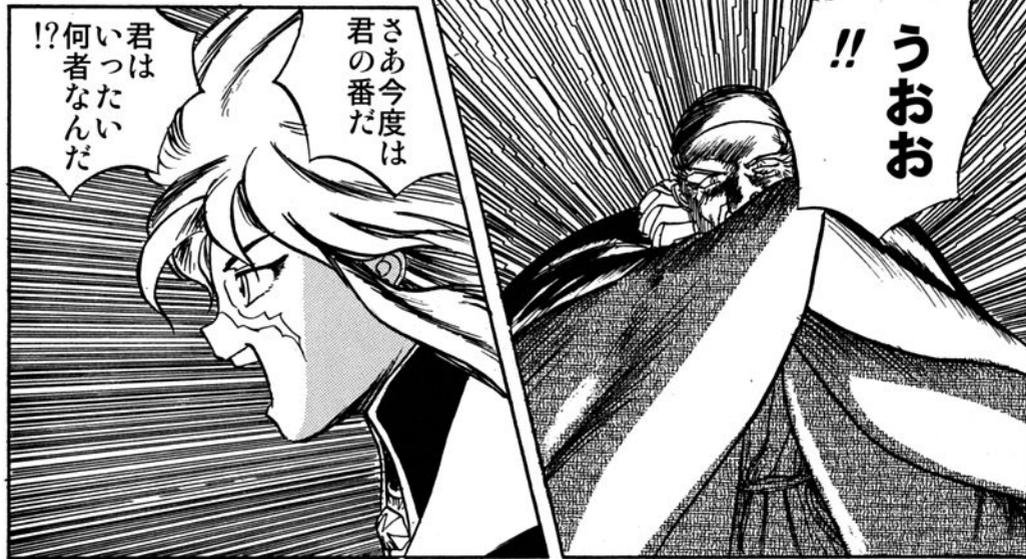
いやだね

何!?



よからうもうお前に用はない

死ぬのだ







「ルレイエの館にて
死せるクトウル
夢見るままに
待ちいたり」

なんだ
そりゃ

太古の昔に
封印された
邪神クトウル
を詠った詩さ

一九二五年に
火山活動で
こいつの棲家が
ほんの一瞬が
浮上したことが
あるけど

そのわずかの間に
世界中で精神障害が
多発しそうでない
うもひどい悪夢に
なされた

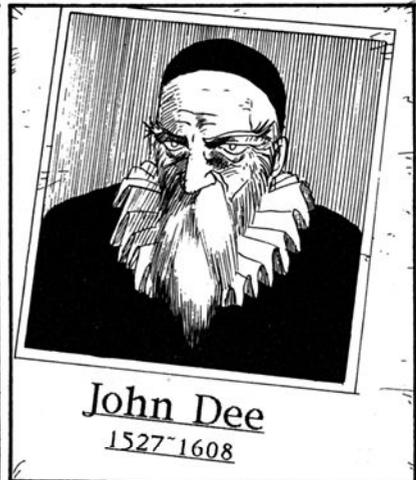
それほど邪悪な
怪物を奴ら呼び
出そうとしてる
んだ

ロンドン
でか？

そうだよ
奴の棲家
ルレイエへの
入口がテムズ川の
どこかにある

しかし
さっきの男……
どこかで
見覚えが

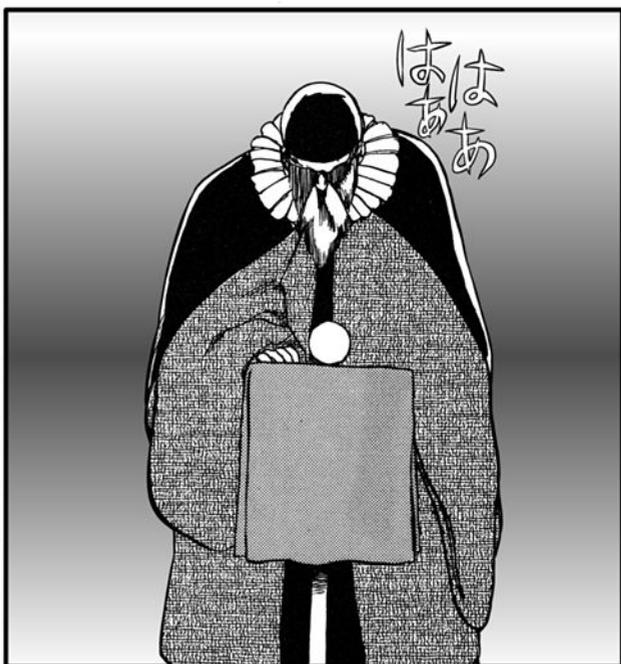






なんという奴だ
油断したとはいえ
このわしが

あの小娘……
いったい……



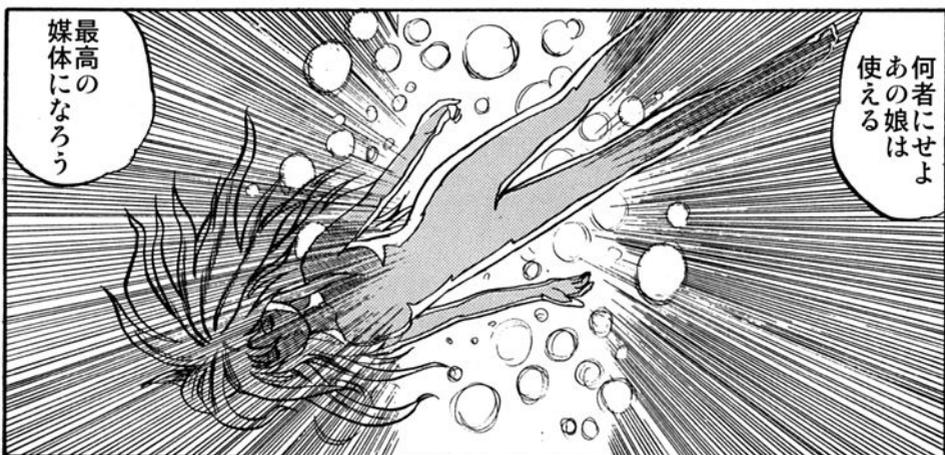
はあ
はあ



よいか
殺す気で行け

しかし
娘は殺すな

はっ



何者にせよ
あの娘は
使える

最高の
媒体になろう

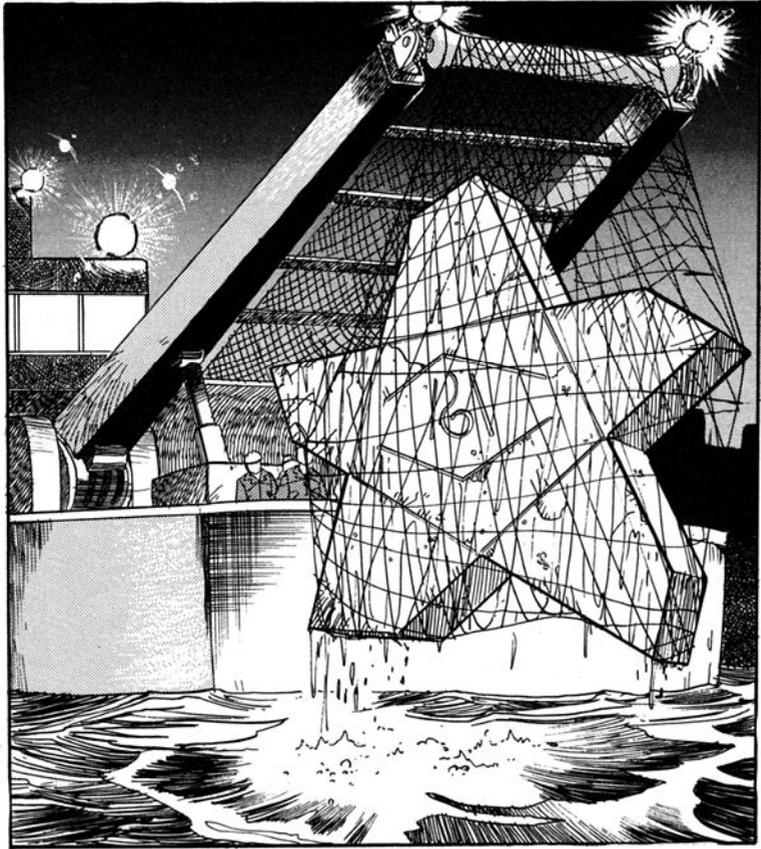
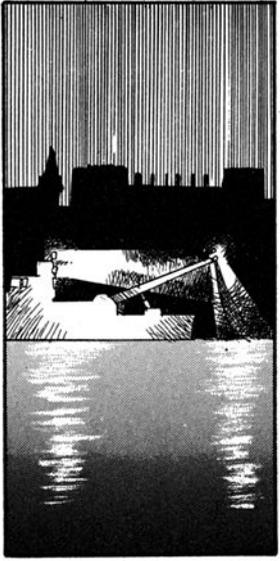


おおい
ちよつと
来てくれ
!!



文句言わずに
働け

まったく
なんだってんだ
こんな夜中に
テムズの川さらい
とは



なんだ
は
こいつは
!?



ウソじゃ
ねーって
バカでか
い星形の
出たんだ
よ

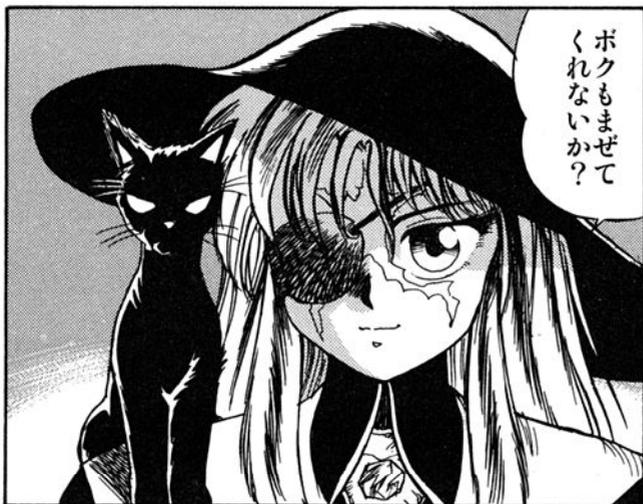
バカ言え
そんなも
んが出た
らとつと
く大騒ぎ
になっ
たら

テムズに異変

海水魚浮かぶ

今月に入ってテムズ海魚が浮かび上がりが起こっている。場所がブリッジから下流にかつた魚は主に太平洋魚が種類、それも深海魚が殺業者としても不自然な関係者は首をひねっ

また、同時期よりテムズ上昇していることが親りからか海水が流入し可能性があると



ボクもまぜて
くれないか？



テムズが変に
なったのは
あんなに上
がったから
なんだ

おもしろそう
な話だね

第三話

満月



誰がのぞくかっ
寝るぞ俺は
あーだめだめ
見張ってて
言っただして



あんなあ
ひびき
響
何よっ
のぞかない
でね!!



パブだっ
ナイアールも
一緒

そーいや
アリシアは
どこ行っ
たんだ?



犬丸ちゃんや
AYAちゃん
と違って
あたしはふつ
ーの
人間な
んだから

こんなとこ
襲われたら
ヤバイじゃ
ない

誰がお前
なんぞ
襲うか!?



いくつに
見える?

パブう?
あいつ
いつた
い
いくつ
だよ



はずれ!
8つだよ
あの子



そーいや同じ
大学行ったって
言っただな

それじゃ
18越えてんのか?
どうみても
14〜15にしか
見えねーぞ



いったい
何者なんだ
あいつ

今さら言うのも
なんだが



や
や
8つう!?

表向き
18ってことに
してるけどね
4つで大学入っ
て
6つで卒業
したんだよ



ひらたく言うと
神の子…かなあ

あたしだって
全部知ってる
わけじゃ
ないけど



!?





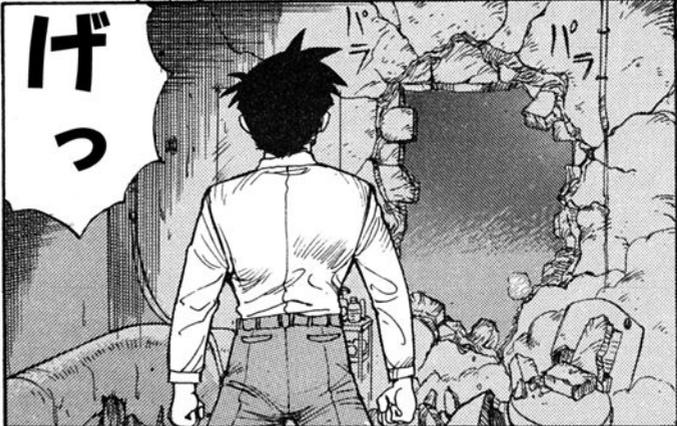
きゃあー!!

響!!



大家に
おん出さ
れるぞ

なんてこと
しやがる



げっ







やめた方が
いいんじゃないか？

お目当ての
娘は
留守だぜ



知ってるさ

もちろん
そっちにも
手は回して
あるが

念には
念を入れて
お前達も
押さえる

動くなよ
女が死ぬぞ



.....



運がないな
今夜の俺には
そんな脅しは
きかん

女を
見殺しにする
つもりか？

そうも
いくまい
なあ

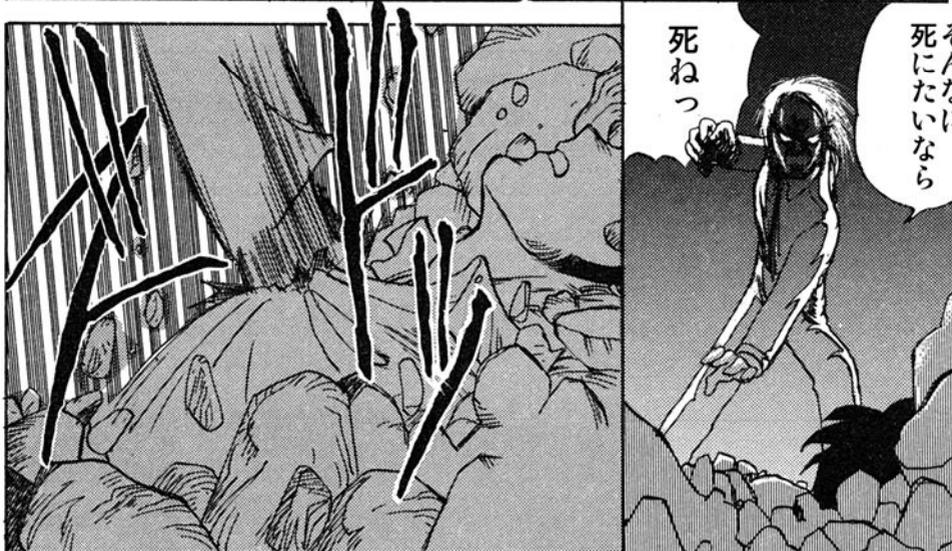
当たり
前よ















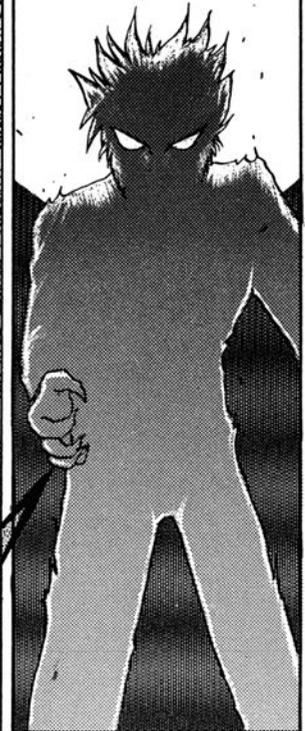
貴様!?

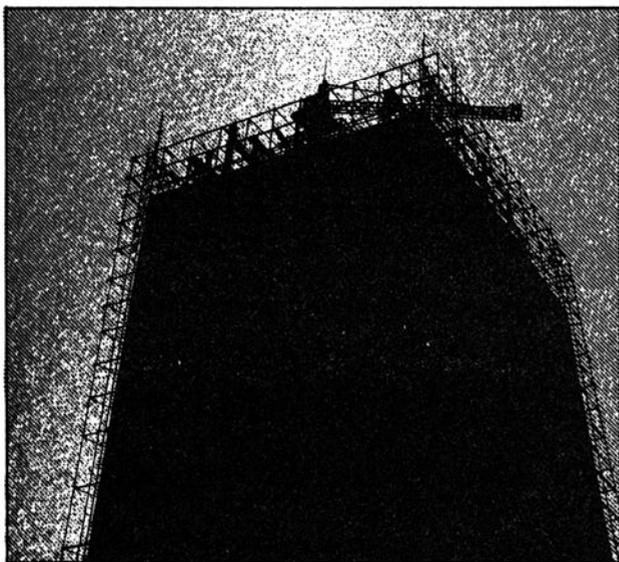
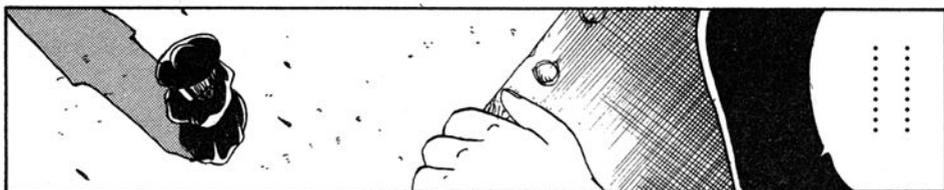
確かに心臓を
貫いたはず

あいつは
生憎だな

俺はそれ
ぐらいじや
死なねえ

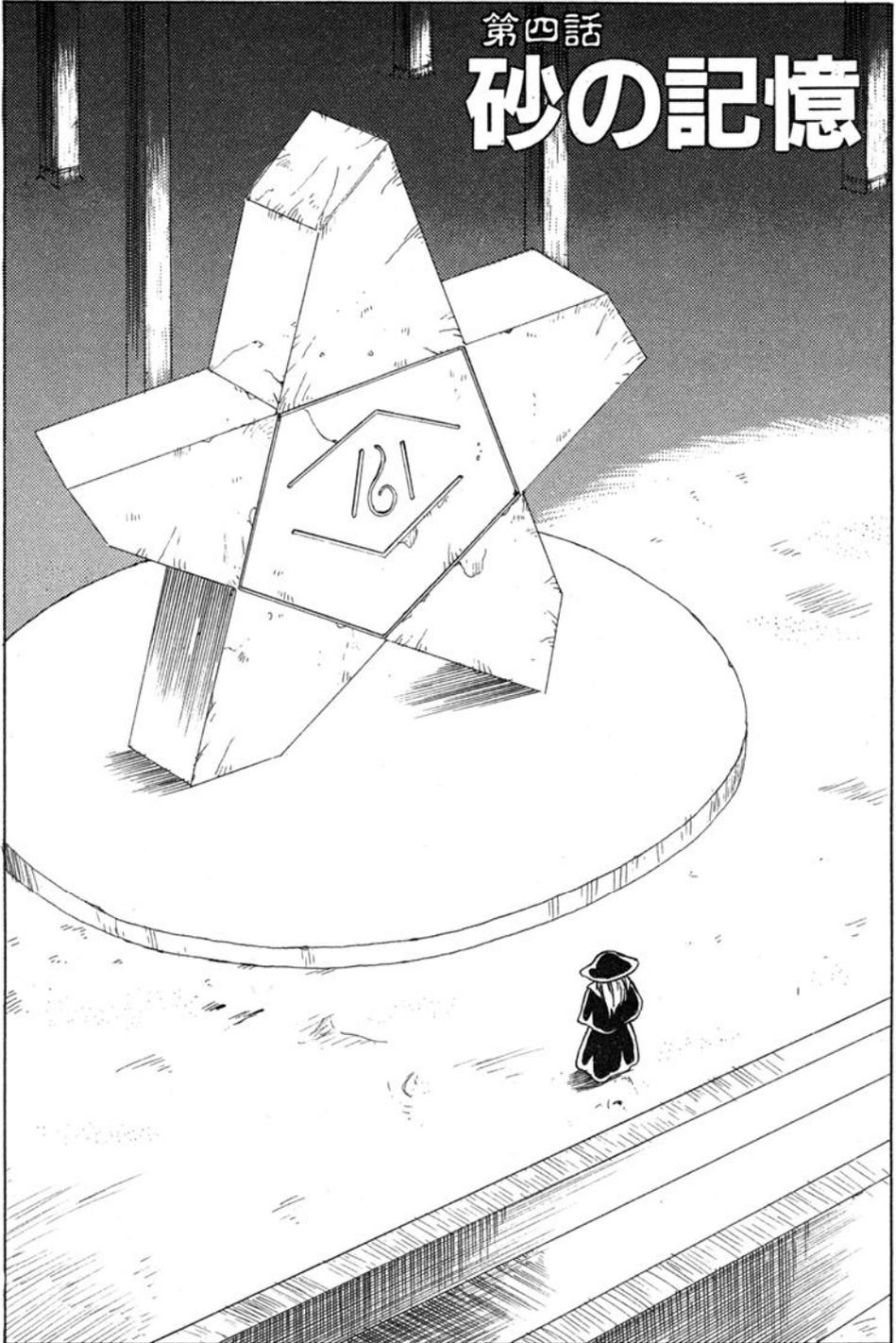
特に
今夜はな!!





第四話

砂の記憶



旧支配者の力を
遮断する
封印だ

こいつには
ボクの方は
通じない

どうしようね

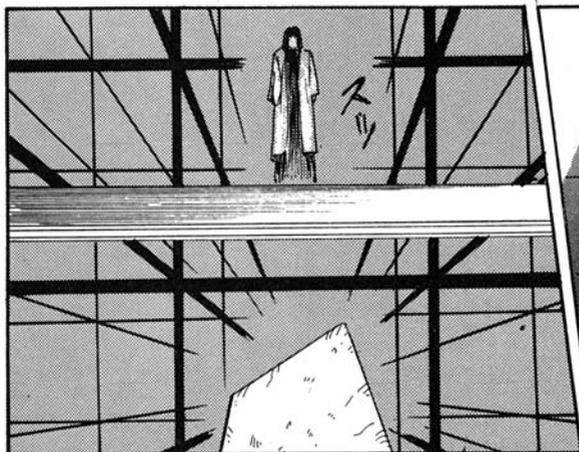
わかってる
だろう

言ってみた
だけだよ

トラヘッドヘズロンの
負の光であれを
囲めばいいんだろ
周りの空間ごと

上出来だ

空間を
遮断したら
あとはよろしく
ボクには転移能力
ないからね



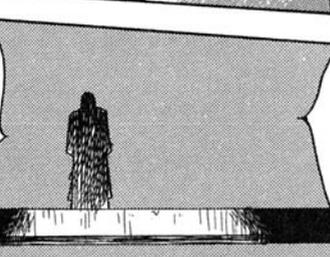
何っ!?



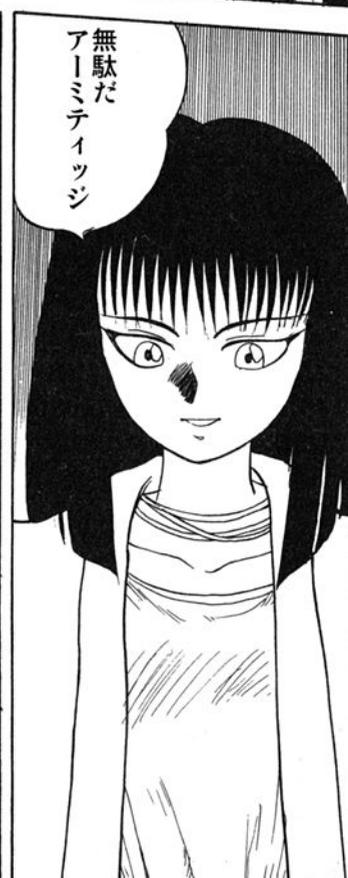


ちっ

この封印の前では
お前の力も
思うように
ふるえまい



その砂は
私の意のままに
動く



無駄だ
アーミティツジ

……..
名を聞いて
おこうか

無貌の神に
仕える者
……とでも
言っておく

何い……？

しつ……知らん
人間どもが勝手に
やつてることだ

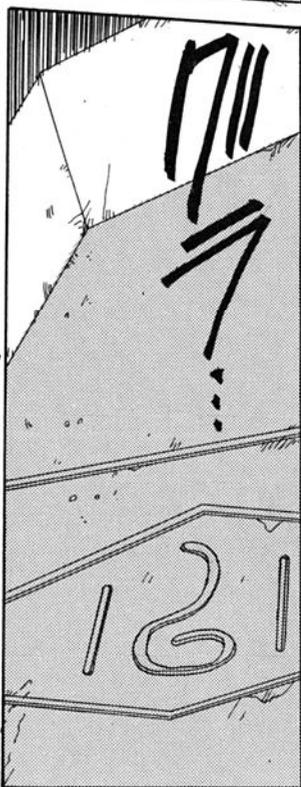
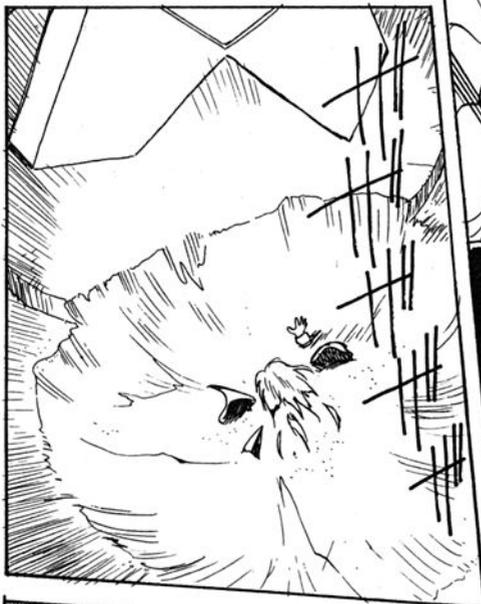
封印をここに
置いたのは
お前をおびき
出すため

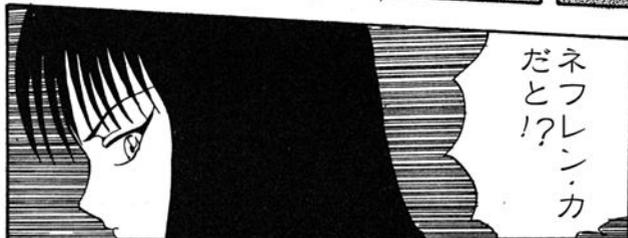
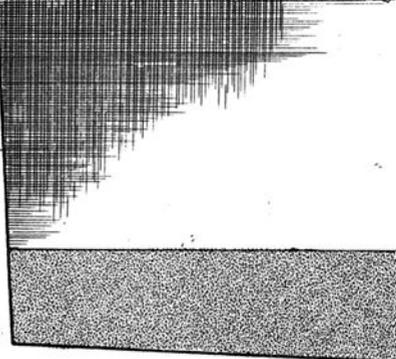
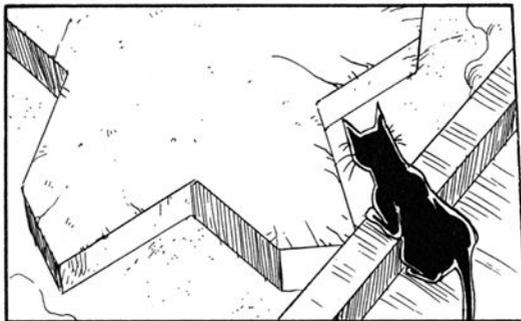
それと
確かめる
ためだ

お前がただの人間か
それとも旧支配者の
血を引く者かを

前者ならば
捕えるは
たやすいが
どうやら後者の
ようだな

ならばその
石が役に立つ





お前の主人は
封じた
さつさと消えるが
いい

昔々、^{たむ}妖に
エジプトの狂える
王の望みを叶えた
ことがある

な!?

多くの魔法を
教え
未来を見る力も
与えた

ネフレンカの
神官達は
彼が墓の壁に
描いた未来を
一瞥に知ることを
恐れ

その壁を布で
覆って毎日
少しずつ未来を
見ること
にしたという

だから気づか
なかつたのか

おおかたデーに
吹き込まれたの
だろうが

ネフレンカ復活は
まだ四千年も
先のことだ

私がそう
したのだ

四千年後
支配すべき
人類の一人
苦しむ世界
にな

なんだと!?

馬鹿なことを……
我がアラオに力を
貸したもうた神は
這い寄る混沌
無貌の神

材材材

無貌ゆえに
いかなる姿形をも
取る者



そ……
そんな

あ……あ



燃える三眼
あるいは
黒き使者



ナイア
テツプ
ーラ

我が名は
這い寄る
混沌





封じられた神々を
解き放ち
この星を支配
するのだ

貴様だって
それを望んで
いよう

お前は
アリシアに
危害を加えた

それが
答えだ

運命を弄ぶ神
ナイアール
トテツブとも
あろう者が
これほど肩入れ
するとは

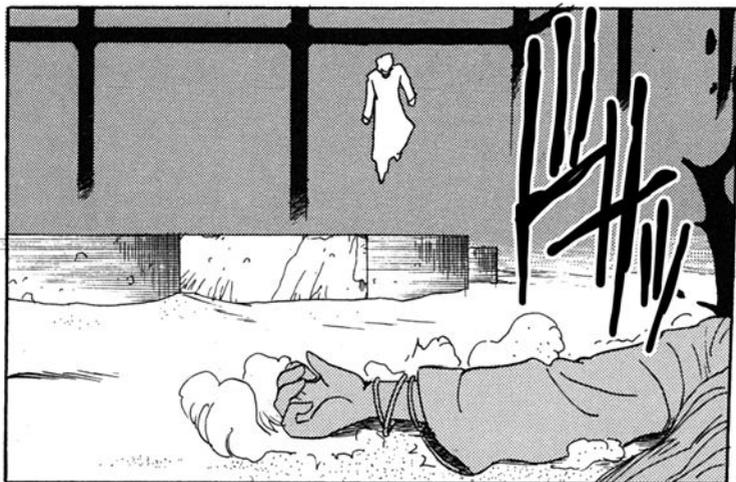
いったいに
あの小娘に
何があるのだ

お前はそれを
知るだろう

冥界の門を
くぐる時

ひっ……





さっきの要領で
封印を「包め」ますか？

やってみただけど
ここじゃ近すぎて
トラペドヘゾロンの
光も封印に
跳ね返されて
しまうんだ



ではとにかく
自分自身を
「包ん」で下さい

それでとりあえず
封印の影響を
遮断できます



空間から切り
離されてしまうので
しばらく連絡も
できなくなりますが

必ず助け出し
ますから
待って下さい

.....
うん
.....



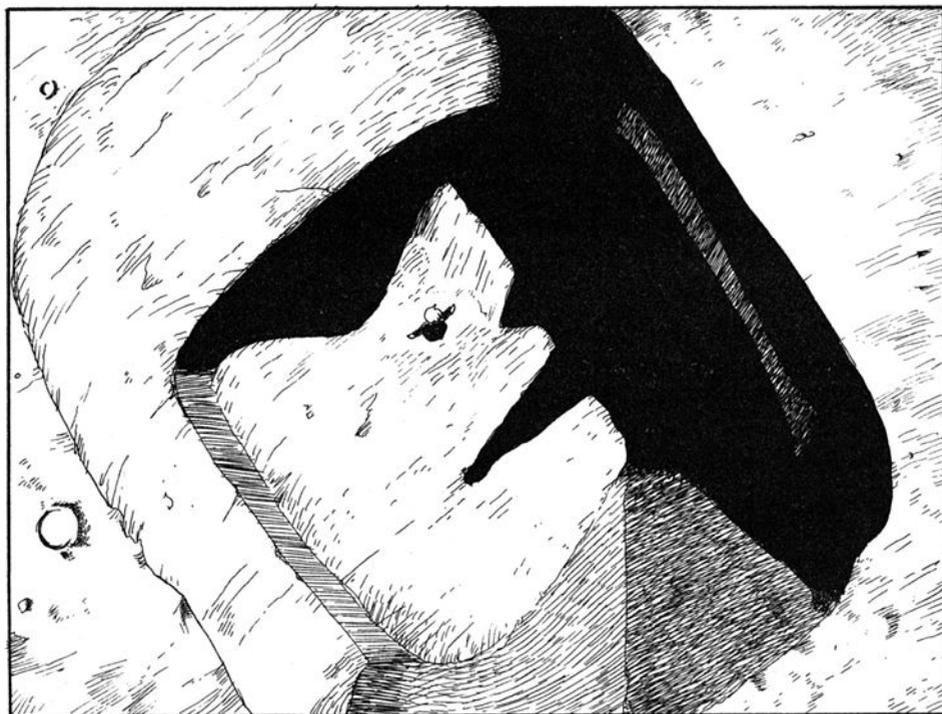
はい

.....
なんでもない
.....



ナイアール







第五話

ランドルフニカーター



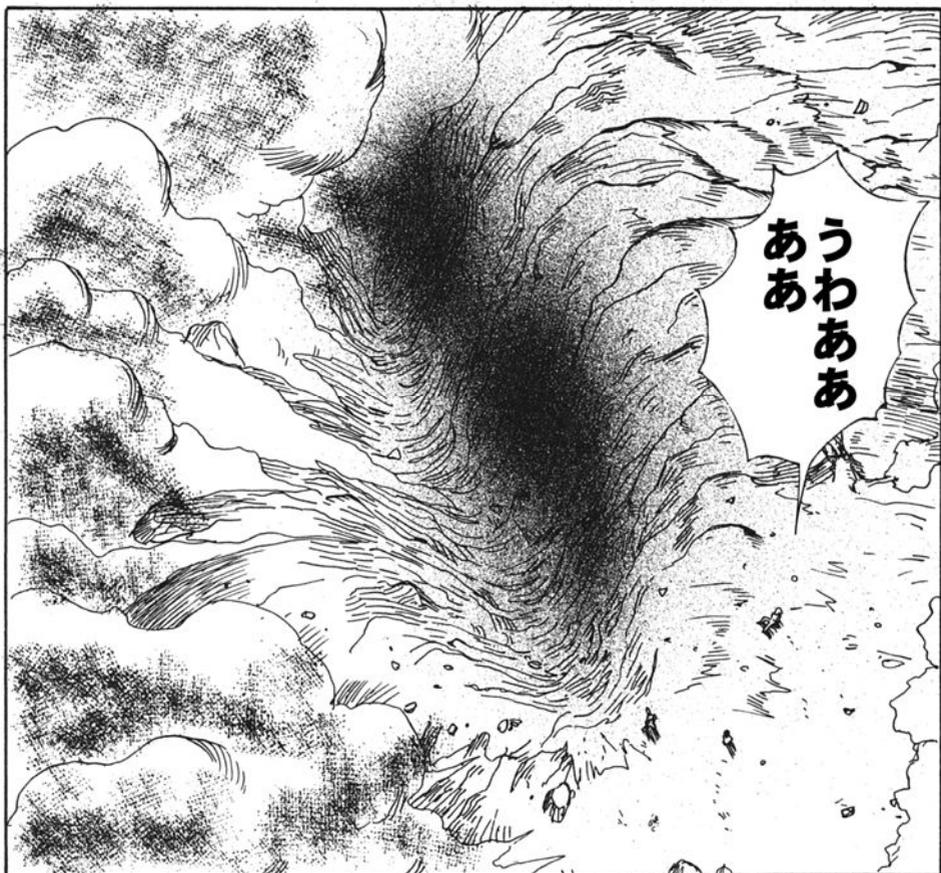






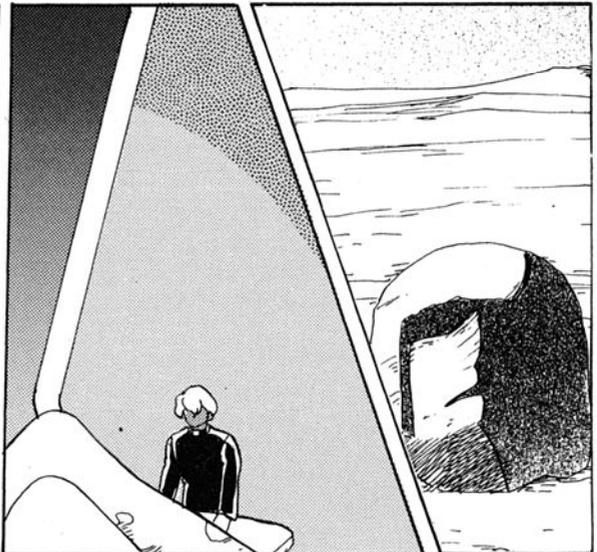
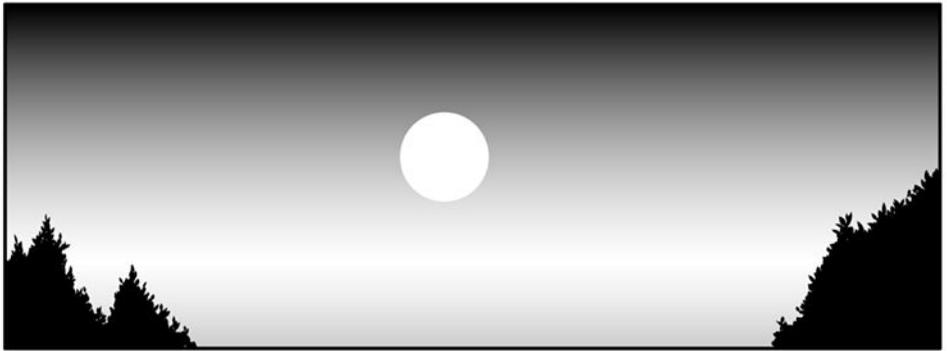


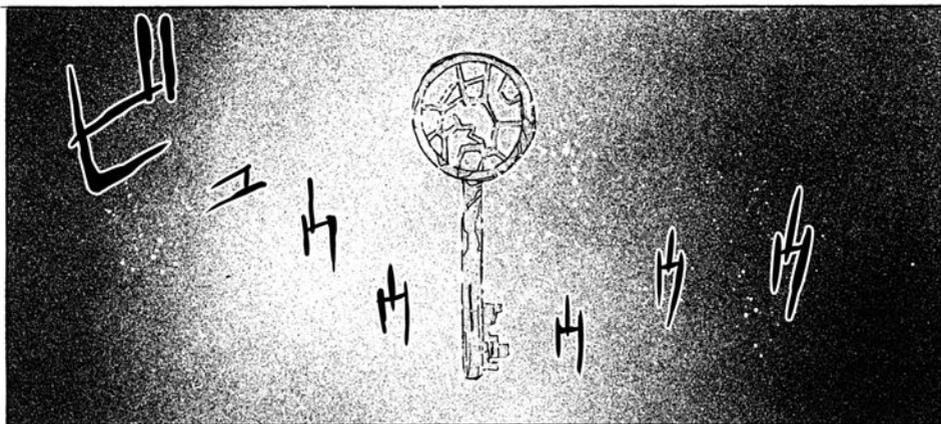


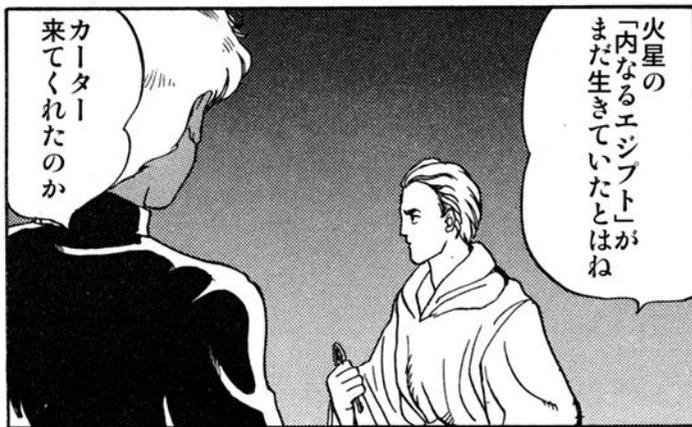
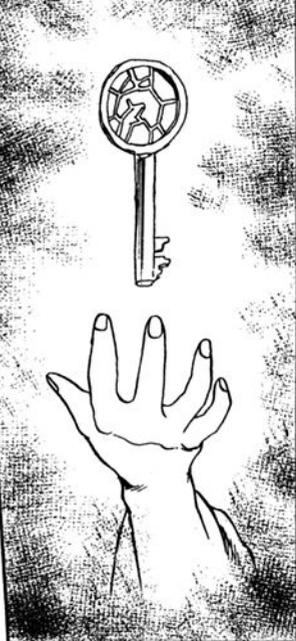












カーター
来てくれたのか

火星の
「内なるエジプト」が
まだ生きていたとはね



!!カーター



君のためでは
ないよ
ナイアール

君の所へなど
来たくは
なかったが
事情が事情だ

わかった
わかった



それにしても……
あの状況では
やむを得ぬとは言え

また
面倒なことを
してくれた
ものだな

本来 閉鎖時空を
いじくれるのは
トラヘッドヘズロン
だけなんだ

そのトラヘッドヘズロンを
こともあろうに中に
閉じ込めてしまうとは……

しかしあらゆる
時空にアクセス
できるその鍵が
あれば

こいつは
時空連続体にしか
作用しないんだよ
わかっているだろうが

方法は
あるんだろ

過去の……つまり
切り離される以前の
トラヘッドヘズロンに
アクセスして
その影を作る

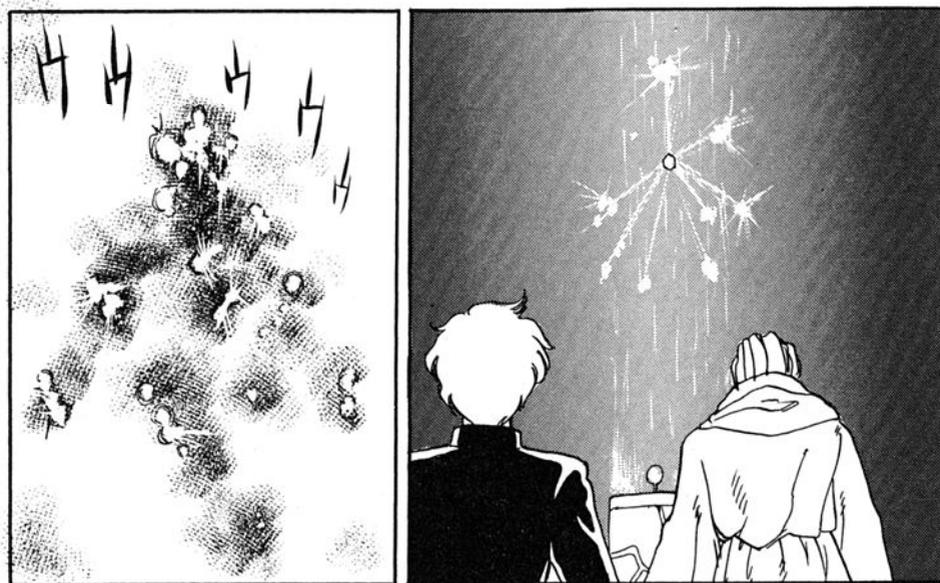
その影に命令を送って
時空をUターンさせ
今のトラヘッドヘズロンを
引き寄せればいい
はずだが

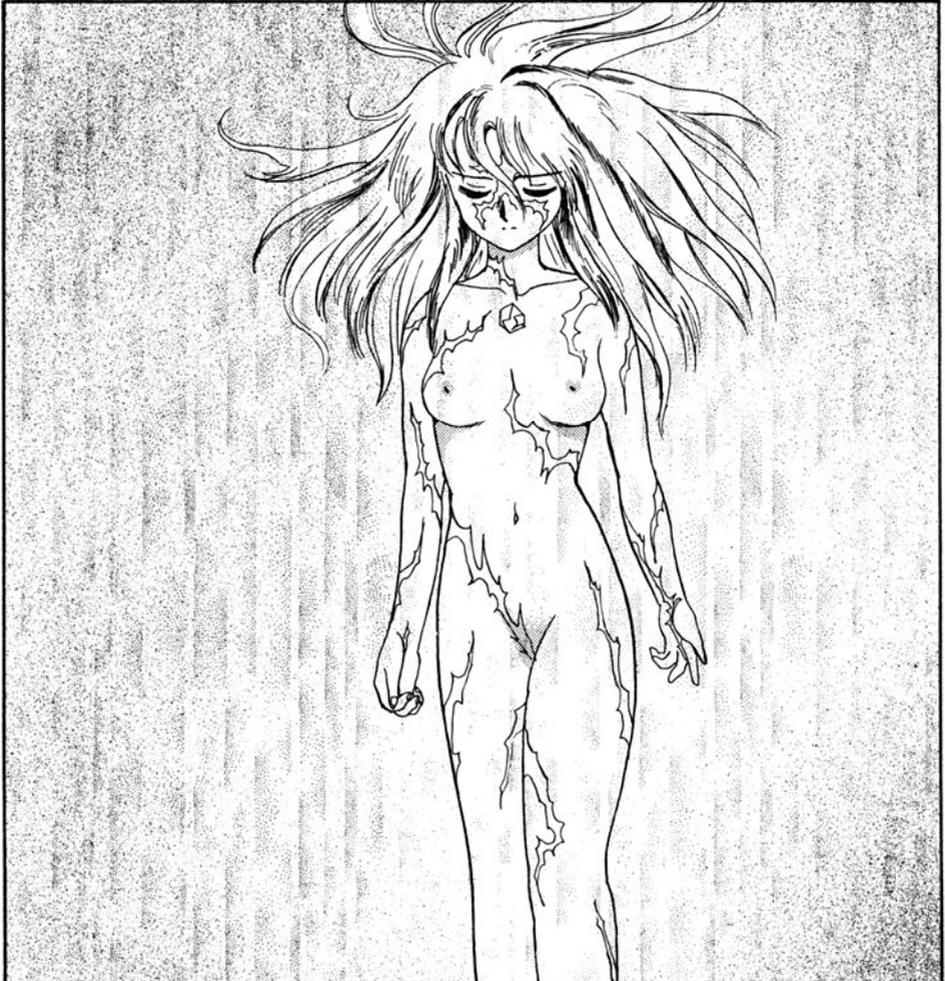
まあな
だがちよいと
面倒だぞ

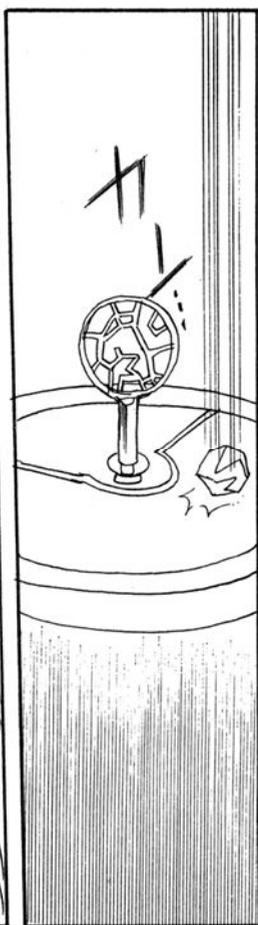
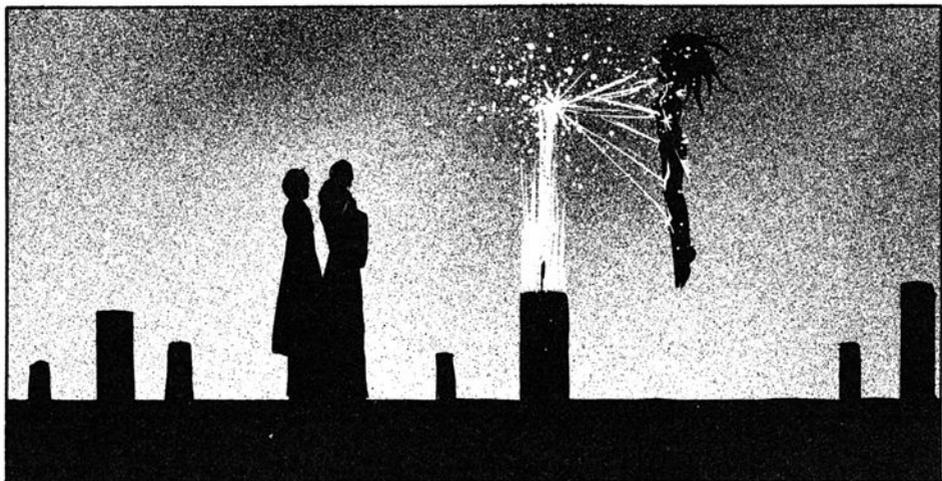
この方法では
時空が共鳴して
不安定すぎる

アリシアの
安全な転送は
無理だ

じゃあ
どうなる





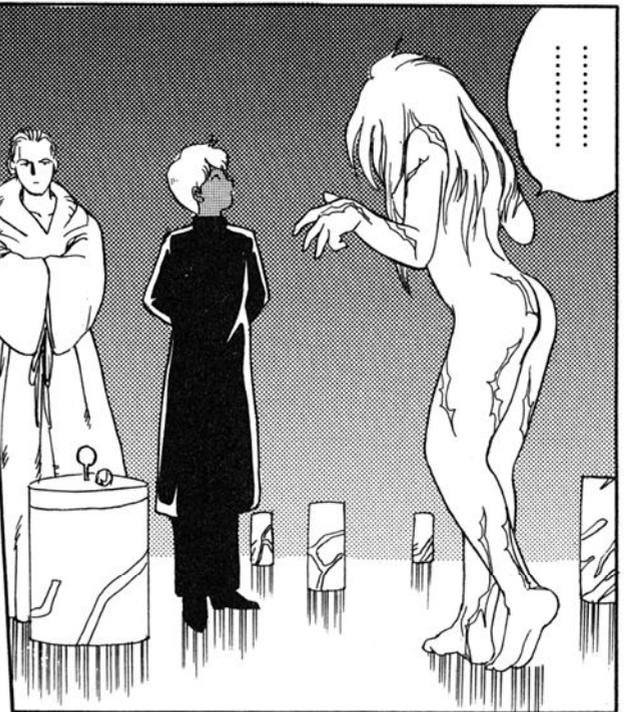


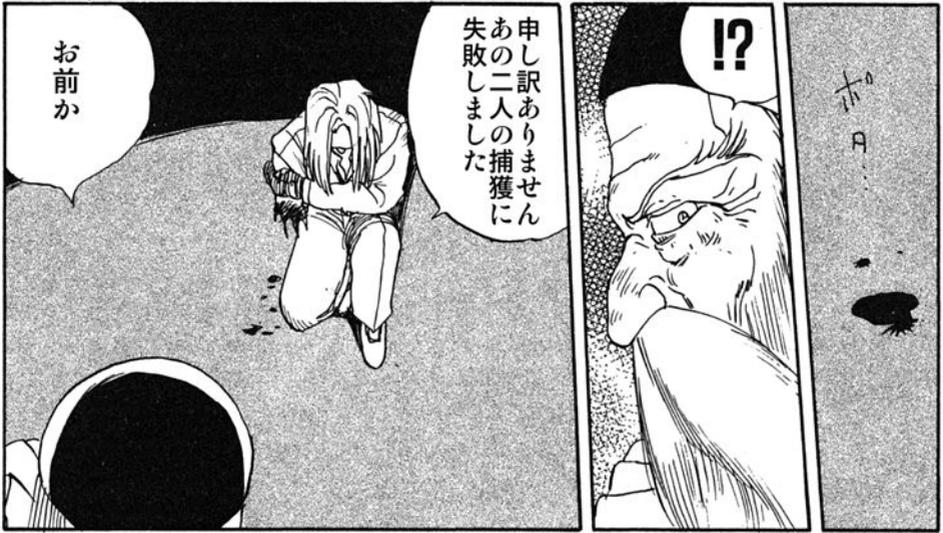


現状って……



というわけで
現状に対する
責任も彼が
負っています



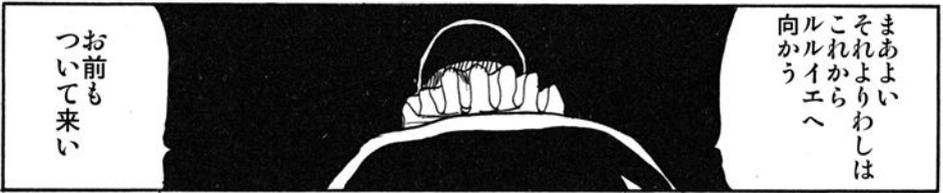


お前か

申し訳ありません
あの二人の捕獲に
失敗しました

!?

ホア



お前も
ついて来い

まあよい
それよりわしは
これから
ルイエへ
向かう



行くぞ

うむ
たつた今
最後の準備が
できた

では
クトウルーの
復活を

わしがアルハザードの「ネクロノミコン」を手に入れたのはエリザベス一世に仕えておった頃だ

自然法則を従える太古の秘法

封印され眠り続ける恐るべき神々の記録

わしはとりつかれたように研究し続けた

立ち読み版はここまでです。

続きは製品版でお楽しみください

ルルイエの幻

本から得た知識はわしに不死をもたらしただが

詳しくは

<http://www.juangotoh.net>

まで

同時に人間であつたこと限界も見つけた